

平成 26 年 1 月 30 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久  
電話番号 03-5572-0233

## アゼルバイジャン共和国 カスピ海 ACG 鉱区における 追加的な原油生産の開始について (チラグオイルプロジェクト)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、子会社インペックス南西カスピ海石油株式会社 (以下、同社) を通じてアゼルバイジャン共和国 カスピ海海域 ACG 鉱区 (以下、本鉱区) において原油の開発・生産作業を実施しておりますが、2010 年より開発作業を進めて参りましたチラグ油田およびグナシリ油田深海部の浅層を含む大規模な追加的な開発である「チラグオイルプロジェクト」(以下、本プロジェクト) から原油生産が本年1月28日より開始し、ACG 鉱区から追加的に原油が生産されましたので、お知らせいたします。



鉱区位置



チラグオイルプロジェクト 生産プラットフォーム

本鉱区は、アゼルバイジャンの首都バクーから東方約100キロのカスピ海域に位置し、アゼリ油田、チラグ油田およびグナシリ油田の3油田から現在日量約60万バレルの原油生産を行っています。本プロジェクトでは、総額約60億米ドルの費用を投じ、最大日量18万3千バレルの原油生産が可能な生産プラットフォームの設置や新たな開発井の掘削等を行い、ACG 油田から追加的に原油生産を行うものです。

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

本鉦区から生産された原油は、バクー近郊のサンガチャルターミナルに送油され、当社が参加する原油輸送パイプラインプロジェクトであるBTCパイプラインプロジェクトを通じて、バクーからグルジアのトビリシを経由してトルコのジェイハン（地中海沿岸）から輸出されます。

当社は、INPEX 中長期ビジョンにおける当社成長目標の一つである上流事業の持続的拡大に向けて取り組んでおり、このたびの追加的な原油生産はこれに資するものです。

当社は、当社が参加している石油・天然ガスプロジェクトについてもその更なる開発・生産可能性を追求して当社の石油・天然ガス事業の拡充を図って参ります。

本件による当社連結業績への影響は軽微です。

以上

### <ACG プロジェクトの概要>

鉦区：	ACG 鉦区	
鉦区面積：	約 432.4 平方キロ	
水深：	100～400 メートル	
鉦区位置：	アゼルバイジャン バクーから東方約 100 キロ	
権益比率：	同社：	10.96%
	BP 社（オペレーター）：	35.78%
	SOCAR 社：	11.65%
	Chevron 社：	11.27%
	Statoil 社：	8.56%
	ExxonMobil 社：	8.00%
	TPAO 社：	6.75%
	伊藤忠商事株式会社：	4.30%
	ONGC 社：	2.72%